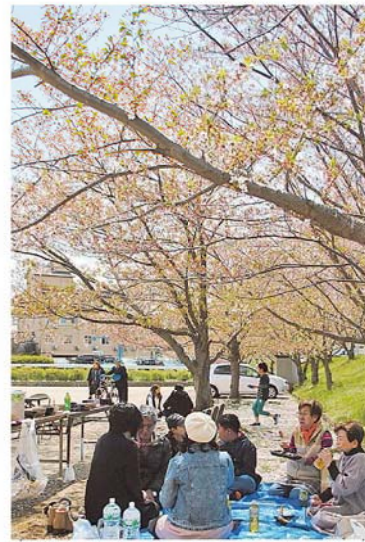


玉原親水公園 ふれあい大会

ステージ盛り上がる



葉桜の下、食事を楽しむ人たち

花見シーズン最後の日曜となった8日、関連イベントが市内各地で開かれ、家族連れらが散りゆく桜を楽しんだ。（正本和臣）

約200本の桜がある玉原親水公園では、玉原コミュニティ協議会が「さくら祭りふれあい大会」を開き、住民ら約200人がステージイベントやゲームを満喫した。婦人会など地元グループの出店も盛り上がった。友人と訪れた山下和子さん（84）は「玉原」は「花が何とに残っていて良かった。若い人の踊りは見ていると元気が出る」と話した。

散りゆく桜 各地で楽しむ

新1年生、元気に抱負

横田地区見守り隊と対面



インタビューに元気よく答える新1年生

植ケ原の横田自治会 新1年生には自治会「お花見会」を開催。から菓子や図書券をアザノ小に入学する新1レゼント。登下校時の安全確保に取り組み横 向けられると「勉強を

頑張ります」と元気がいっぱいに答えた。松本結護君（6）は「みんなにお祝いされ、うれしかった。早く学校に行きたい」と笑顔で話した。公園の周りに植えられた約40本の桜は大半の花が落ちていたが、赤いツツジが満開になっていた。高台にはこのほりが掲げられ、住民らは空を見上げながら、おでんや焼き鳥を食べたりビールを飲んだりした。

八浜の高齢者施設 利用者と住民交流

八浜町大崎の高齢者福祉施設・さくらのさく郷で、恒例の「さくら春祭り」があり、利用者と地元住民らが交流を深めた。

中庭の特設ステージでは、光南高吹奏楽部が石川さゆりさんの「津軽海峡・冬景色」、フィンガー5の「学園天国」など7曲を披露。西城秀樹さんの「ヤングマン」では、お年寄りも生徒の動きに合わせ、持ち上げた手で「Y・M・C・A」の文字をつくった。

司会を務めた同高2年金谷莉瑚さん（16）と眞田海実さん（16）＝ともに八浜出身＝は「観客が笑顔で拍手



息の合った演奏を披露する光南高吹奏楽部

してくれたので、気持ちよく進行や演奏ができた」と話した。

職員や地元住民、近隣の飲食店の出店も並び、焼き

そばやパン、アイスクリームを販売。施設のお年寄りや住民らは春風に舞う花びらを眺めながら、会話に花を咲かせた。